

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

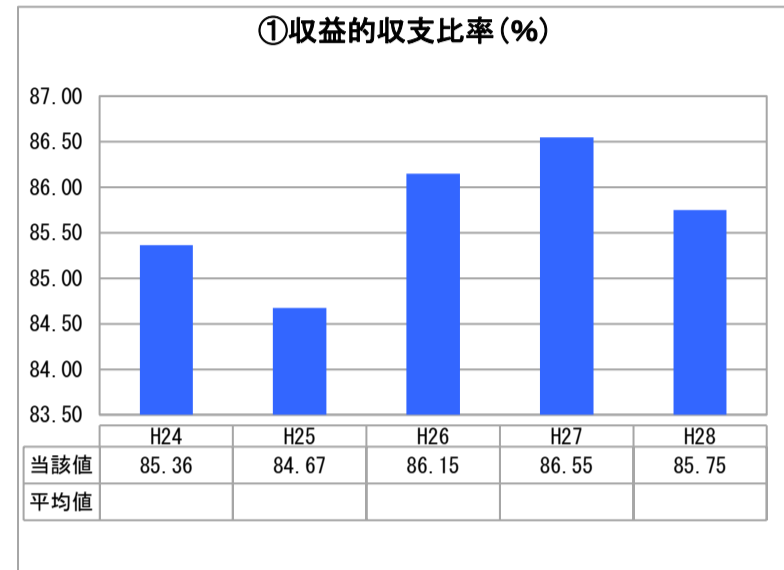
埼玉県 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	63.86	94.14	1,890

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
38,584	7.56	5,103.70

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



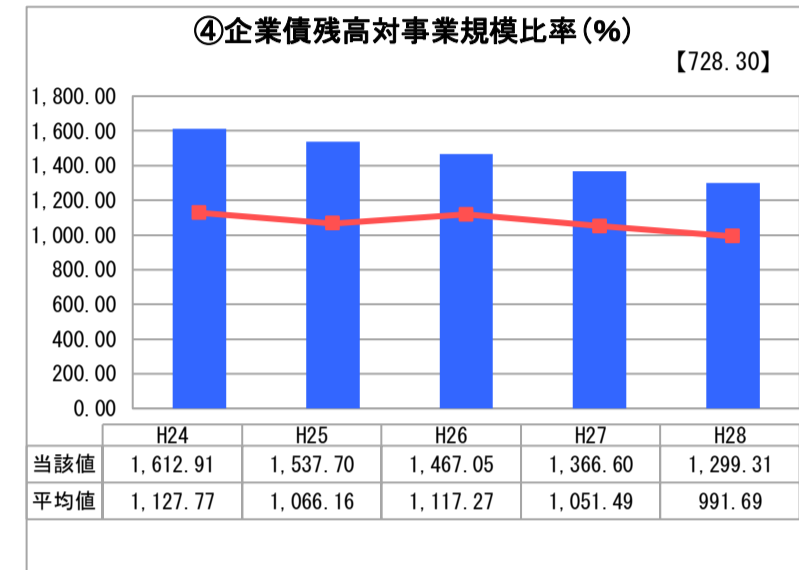
「単年度の収支」



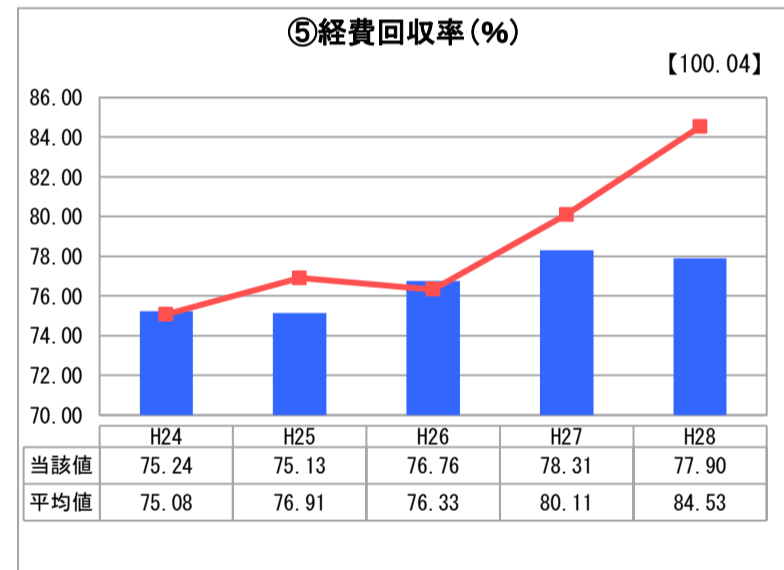
「累積欠損」



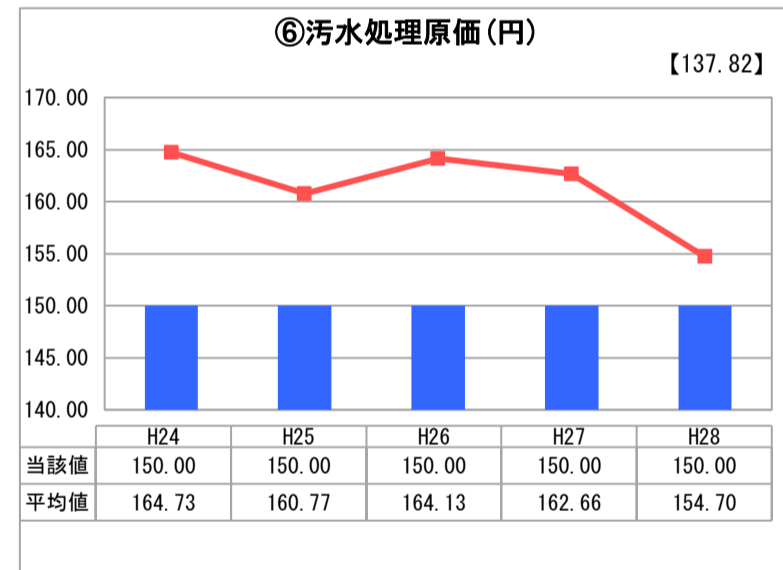
「支払能力」



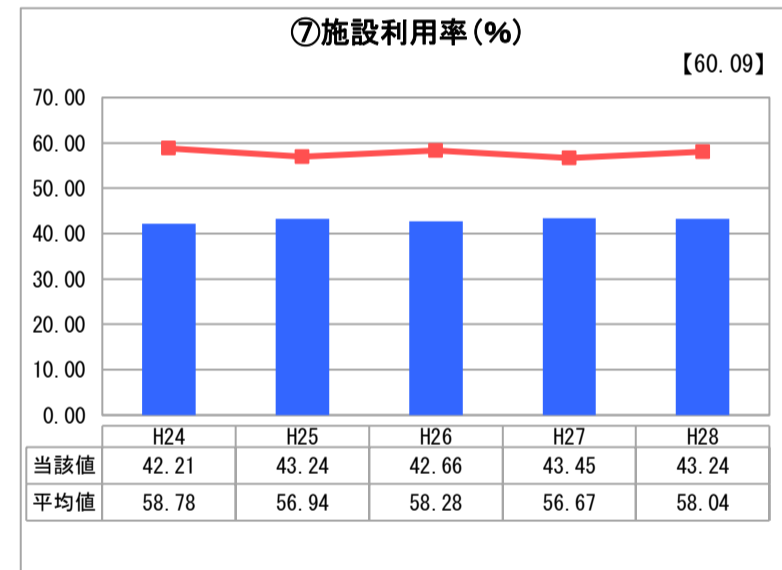
「債務残高」



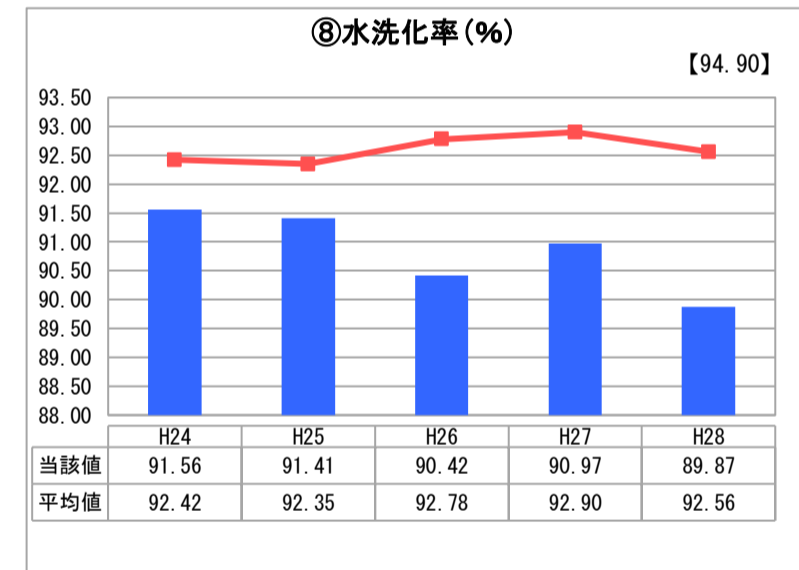
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

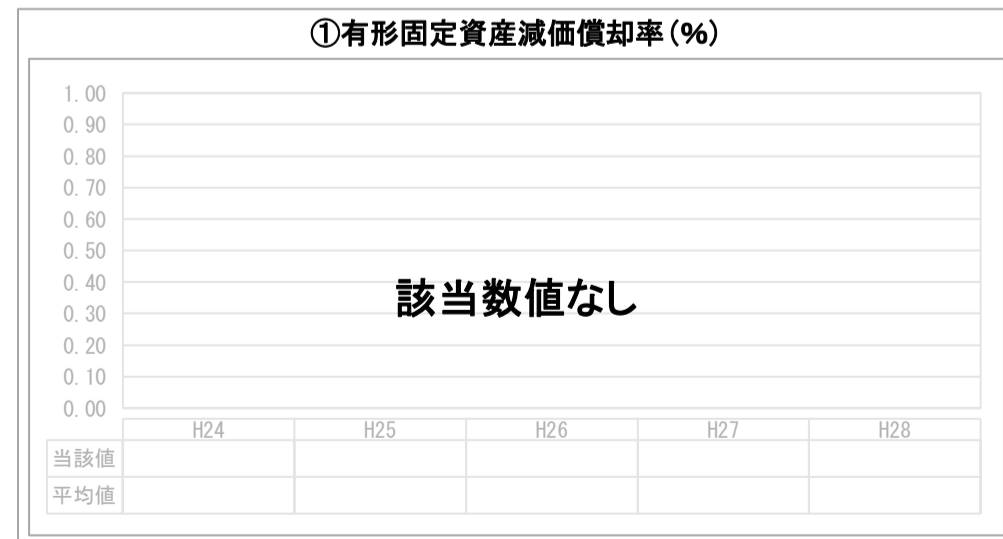


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

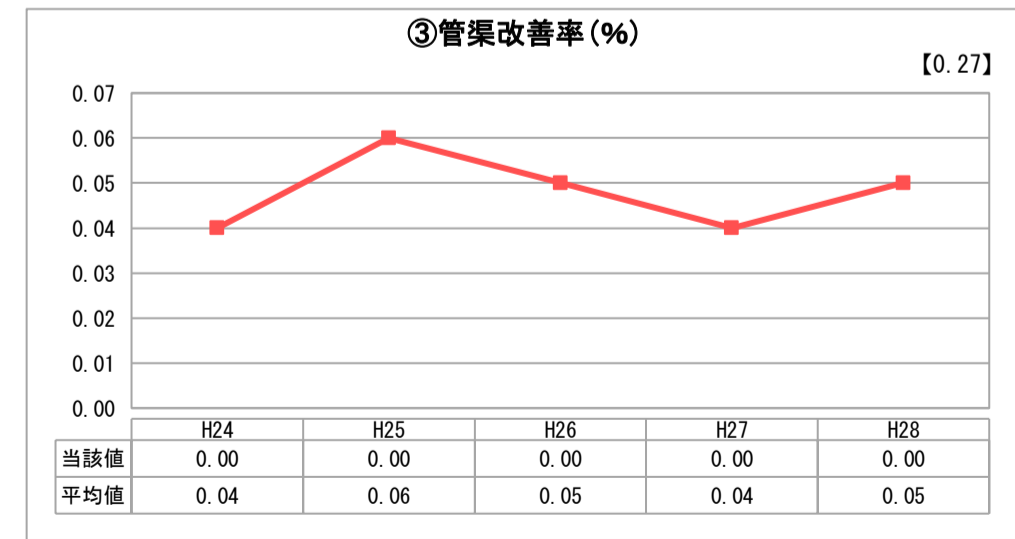
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
概ね、右肩上がりの数値にはなっているが、100%未達であり、今後の収支計画等を踏まえた、事業計画が必要であり、使用料金の改定も視野に入れたい。
- ④ 企業債残高対事業規模比率  
企業債残高が高い状態であるが、償還のピークは過ぎており、年々減少傾向である。
- ⑤ 経費回収率  
類似団体と比較しても低い数値になっており、使用料金の確保、汚水処理費の削減に努めたい。
- ⑥ 汚水処理原価  
有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理に要した経費である。
- ⑦ 施設利用率  
汚水処理能力に対する処理水量の割合であり、類似団体に比べ低い数値になっている。
- ⑧ 水洗化率  
類似団体に比べて少し低い数値になっている。水洗化率向上のため、未接続家屋等へ戸別訪問を行い水洗化促進を行う。

### 2. 老朽化の状況について

- ③ 管渠改善率  
今まで、埋設した下水道管渠は耐用年数を経過している管渠がない。しかし、今後は更新、管更生の計画策定も視野に入れて調査等の準備が必要になる。

## 全体総括

当組合は、平成元年に供用開始し、整備区域を拡大してきた。市街化区域はほとんど終了し、現在は調整区域の人口密集地への整備を行っている。下水道使用料は当初の設定時には県内上位の設定だったが、現在は平均くらの料金である。終末処理場は老朽化が進んでおり、長寿命化計画において再構築工事委託を段階的に行っている。また、平成31年度から地方公営企業法適用になるように準備調査を進めており、現在は、固定資産台帳の整備や会計システム、その他の関連業務を進めている。法適用時には財務諸表を作成することになり、組合の経営、資産等を把握することができ、これからの経営の更なる健全化に期待できる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。